

令和 6 年度 一ツ葉高等学校 学校関係者評価結果

令和 6 年度の学校自己評価に基づき、学校関係者評価を実施しました。

【自己評価の概要】

- ・対象者：保護者、生徒、教職員
- ・方法：Google フォームによるアンケート
- ・実施時期：令和 7 年 3 月（前期卒業生は令和 6 年 9 月）

【自己評価結果（5 段階評価）】

<学校運営> 4.33

- 指導の個性やスクールミッションへの理解が評価されました。
- ソーシャルスキル学習の周知と教職員間の連携強化が今後の課題です。

<学習指導> 4.23

- AI 教材やオンライン学習が活用されていると評価されました。
- 一部の生徒への学習意欲喚起に課題が見られました。

<卒業指導> 4.40

- 卒業率 99%を達成し、進路支援の体制も評価されています。
- 生徒・保護者が気軽に相談できる体制のさらなる強化が求められます。

<生活指導> 4.06

- 安心して過ごせる環境が整っているとの声がある一方、SNS 指導等の内容充実が課題です。

<進路指導> 4.36

- 第一志望校合格（大学・専門学校）を目指す支援や面談の充実が評価されています。
- 就職支援体制の更なる整備が求められます。

<特別活動> 4.23

- 地域との交流・体験活動が好評であり、今後も継続・発展が期待されます。

【学校関係者による主な意見】

- ・保護者代表より：
 - 「進路支援に安心感がある。学校での学びを家庭と共有できるような取り組みを期待。」
 - 「教職員の対応が丁寧で、安心して子どもを任せられる学校と感じている。」
 - 「学校生活の様子が定期的に知られることで、子どもの成長を感じることができている。」

・地域代表より：

- 「地域交流の継続により、生徒と地域のつながりが深まっている。」
- 「スクーリング以外での地域行事などへの参加が増えており、今後はより若い世代との交流も検討してほしい。」
- 「地元の県立矢部高等学校との交流を検討してほしい。」

・教職員より：

- 「生徒支援の方法を共有し、教員間の支援体制を強化する必要がある。」
- 「個々の生徒の背景に応じた柔軟な対応を今後も継続していきたい。」
- 「キャンパス間での連携や情報共有をさらに円滑にしたい。」

【今後の改善に向けた取組】

- ・教職員研修による共通理解の推進
- ・ソーシャルスキル学習の保護者向け周知
- ・SNS 対応教材の充実
- ・就職支援マニュアルの整備
- ・地域・保護者連携行事の開催

本評価結果は、保護者の皆様をはじめ、関係者のご理解とご協力のもとで実施されたものです。
今後とも教育活動の質向上に努めてまいります。

令和 7 年 4 月 3 日 一ツ葉高等学校